

平成 26 年度
地域の“まちづくりびと”養成講座
(入門編)

つながるまい!! 防災・減災たすけ♡

第 5 回

『まちの災害と防災・減災を考えよう!』

日時：平成 27 年 2 月 28 日（土）
時間：13 時 30 分～16 時 30 分
場所：松栄コミュニティーセンター

いくらか寒さも緩み、陽ざしに春の訪れを予感させる中、昭和区の松栄コミュニティーセンターにて「平成 26 年度地域の“まちづくりびと”養成講座（入門編）」の第 5 回講座が開催されました。

この講座は、都市センターの養成講座修了生である「まちづくりびと」、陶生町自主防災会代表、名古屋都市センター、講師の葛山稔晃さんを実行委員として講座の企画・運営を行っています。

♡ はじめに & アイスブレイク

はじめに、進行役のまちづくりびとにより、本日のスケジュールと進め方などを確認し、次に、講師の葛山さんによる前回の講座の振り返りのあと、アイスブレイクを行いました。

・連想ゲーム

テーマに沿って言葉を連想していくゲームです。例えばテーマが「雪」の場合、最初の人「雪と言ったら白い」（手拍子）、次の人「白いと言ったら牛乳」（手拍子）「牛乳と言ったら…」と順々に答えていき、2 巡できたら成功とします。

・言葉並べゲーム

あらかじめ言葉が書かれている 16 枚のカードを並べ替え、カードの中に書かれている言葉を全て繋げて 1 つの文章を完成させるというゲームです。



「連想ゲーム」を行う参加者の様子



「言葉並べゲーム」を行う参加者の様子

♡ ワークショップメソッド体験

この後に行う「かわらばん」作成にむけて、自由な発想をするための練習として、ワークショップメソッドを体験しました。

① アイコン (icon) を描こう！

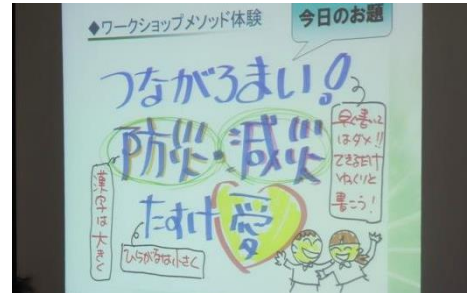
講師が挙げたテーマに沿って、頭に思い浮かんだ絵を短時間で次々と描いていきます。同じテーマでも、受講生それぞれの個性がアイコンに表れていました。描いたアイコンはグループ内でお互いに見せあい、それぞれの良いところ褒めたり、感想を伝えたりしました。



アイコンを描く参加者の様子

② ファシリテーショングラフィックを体験しよう！

次に、講師の作成例を参考にして、どのように描けば見栄えが良くなり、見る人の興味を引くことができるかを考え、様々な効果を使用して文字を目立たせる方法を体験しました。参加者は、文字に影を付けたり、イラストを入れるなどをして、それぞれのやり方で工夫をしていました。



スライドによるファシリテーショングラフィックの説明

♥ グループワーク「かわらばん」作成

第1～4回の講座を踏まえて、グループで災害に強いまちづくりの地域像を考え、災害への対応について提案する「かわらばん」の作成を行いました。

まちの「現状」、「魅力」、「課題」、「将来方針」、「アクションプラン」、そして「私たちが出来ること」の6つの項目についてそれぞれ意見を出し合い、どのような配置で作成するか、見出しをどのように描き、目立つようにするかなどを話し合っていました。

今回の講座の中でも特に重要な作業であるこの「かわらばん」作成を、グループ内で一致団結して入念に行っている様子が見られました。



話し合いをする参加者の様子

♥ 発表タイム

次回の「かわらばん」の完成とプレゼンテーションに向けて、現在の進捗状況をグループごとに発表しました。



発表を行う参加者の様子

最後に、講師による講座の振り返りと次回講座の案内、アンケートの記入を行い、全員で会場の片づけをして第5回の講座を終了しました。